2023年度

鳥取看護大学 雇用主・卒業生アンケート結果報告



鳥取看護大学 キャリア支援課

雇用主アンケート 概要

鳥取看護大学の卒業生(2021年3月~2023年3月卒業)を雇用している病院等施設を対象に、本学でのキャリア 形成支援、キャリア教育に関するアンケートを実施した。

■調査目的

学生の就職支援活動の充実に活用することを目的とする。

■調査対象

2021年4月から2023年4月までの3年間に本学卒業生が新規採用された61施設

■調査方法

アンケート用紙を対象施設に郵送し、回答記入後に返送していただく。

■調査期間

2023年10月2日から2023年10月31日

■回収率

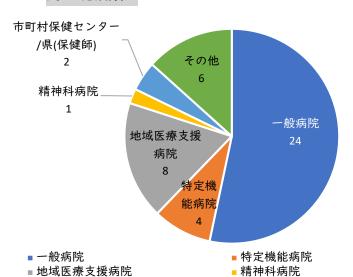
77.0%(=47/61事業所)

■内訳

	県内	島根県	その他地域	不明	合計
発送数	34	9	18		61
回収数	26	7	12	2	47
回収率	76.5%	77.8%	66.7%	_	77.0%

2023年度 雇用主アンケート 集計結果

問 1. 施設類型



問2施設エリア



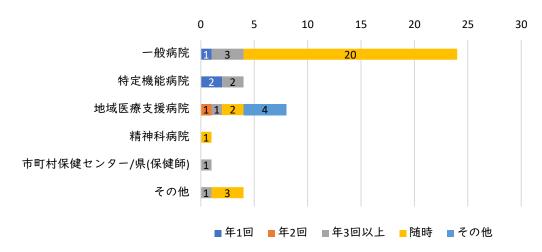
- ■鳥取県東部 ■鳥取県中部 ■鳥取県西部
- 島根県●その他

問 3. 施設類型別 病院説明会開催状況

■ 市町村保健センター/県(保健師)

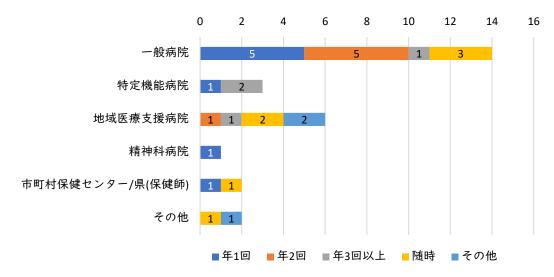
・説明会は随時開催している施設が26施設と最も多い。

■その他



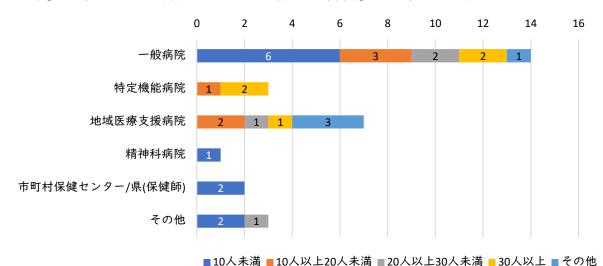
問 4. 施設類型別 インターンシップの実施頻度

・インターンシップにおいて、随時や複数回開催している施設数が年にI回の施設数を上回っている。



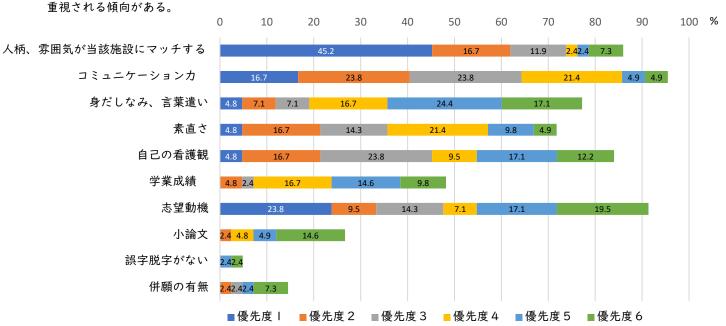
問5. 施設類型別 インターンシップ平均参加者数

・インターンシップの平均参加者数は「I0 人未満」と回答した施設が II 施設あり、少人数開催が多いことがうかがえる。参加人数に「その他」と回答している 4 施設はすべて「コロナ禍により未実施」との回答であった。



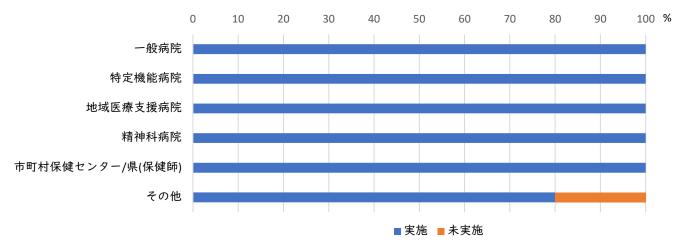
問6.採用試験で重視するポイント

・「人柄・雰囲気が当該施設にマッチする」ことを優先している施設が最も多く、「コミュニケーション力」や「志望動機」も 重視される傾向がある。



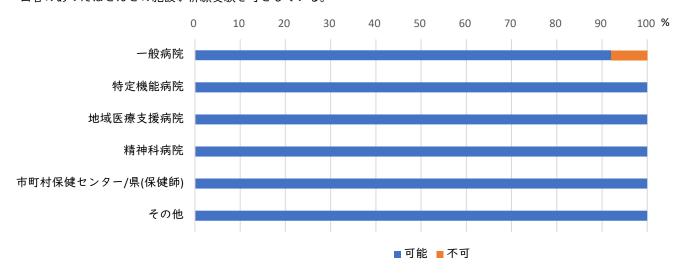
問7. 施設類型別 新人教育の有無

・回答のあったほとんどの施設が新人教育を実施している。



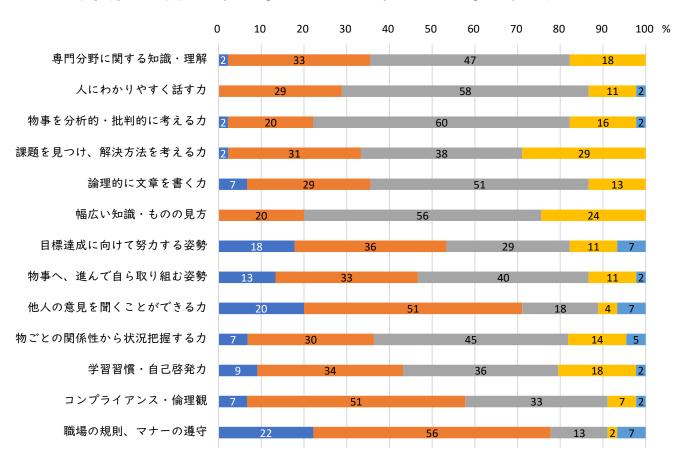
問8. 施設類型別 併願受験の可否

・回答のあったほとんどの施設が併願受験を可としている。



問9. 鳥取看護大学卒業生の社会人基礎力について

- ・「職場の規則・マナーの遵守」「他人の意見を聞くことができる」は「身についている」「まあまあ身についている」と評価した病院・施設が、70%を超えている。
- ・一方で「課題を見つけ、解決方法を考える力」は 29%が「あまり身についていない」と回答した。



■身についている ■まあまあ身についている ■どちらともいえない ■あまり身についていない ■身についていない

【考察】

- ■説明会やインターンシップは、コロナ禍においても感染拡大の影響を考慮しながら、学生の希望により説明会を随時開催し、インターンシップを年間で複数回受け入れる施設が多かった。この結果を踏まえ、学生には自主的に病院・施設に問い合わせて参加し、施設研究するよう促していきたい。
- ■採用試験で重視するポイントについて、優先度 | 位は「人柄・雰囲気が当該施設にマッチする」(45.2%)、「志望動機」(23.8%) 「コミュニケーション力」(16.7%)、の順となっている。本学では志望先を選ぶ際に自己分析、施設研究の重要性についてキャリアガイダンスで指導しているが、自分の適性を知ること、どのような働き方で、どのような看護をしていきたいのかを明確にするよう指導するとともに、病院・施設の機能や看護理念などをよく調べ、求める人物像と、自分の希望や適性がマッチする病院・施設なのかを比較検討し、ミス・マッチとならないように希望先を選ぶよう引き続き指導したい。また、「コミュニケーション力」が重要視される点から、相手の話を聴き、相手の感情をくみ取る力、わかりやすい表現で物事を伝える力、相手の口調や動作を見て会話を進められる力などを身に着けるよう指導していく必要がある。
- ■社会人基礎力は、13 項目のうち「課題を見つけ、解決方法を考える力」は 29%が「あまり身についていない」と回答した。 この結果から、自ら積極的に課題を探し、論理的に課題を分析し解決方法を模索しようとする意識を醸成することが求められる。

卒業生アンケート概要

鳥取看護大学の卒業生(2021年3月~2023年3月卒業)を対象に、本学でのキャリア形成支援、キャリア教育に関するアンケートを実施した。

■調査目的

卒業後の状況を把握し、卒業生及び在学生の就職支援ならびにキャリア形成支援に活用することを目的とする。

■調査対象

2021年3月から2023年3月までの鳥取看護大学 看護学部 看護学科卒業生。

■調査方法

Google Forms の URL および QR コードを掲載した用紙を対象者に郵送し、回答を送信してもらう。

■調査期間

2023年10月2日から2023年10月31日

■回収率

29.2%(=68名/233名)

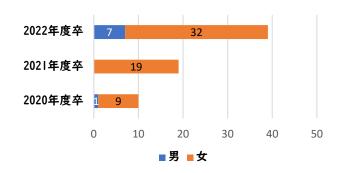
■内訳

	2020 (R2) 年度卒	2021 (R3) 年度卒	2022(R4)年度卒	合計
発送数	82	78	73	233
回収数	10	19	39	68
回収率	11.6%	23.2%	53.4%	29.2%

2023 年度 卒業生アンケート 集計結果

《年度卒別帰属》

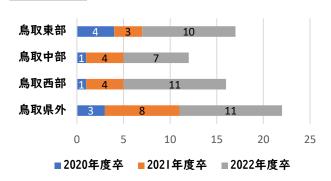
問 1. 回答者数 n=68



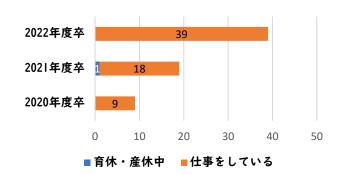
問 2. 卒業時進路 n=68



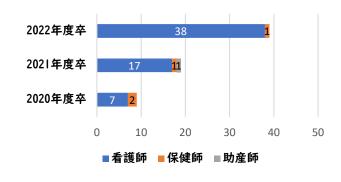
問 3. 勤務地 n=67



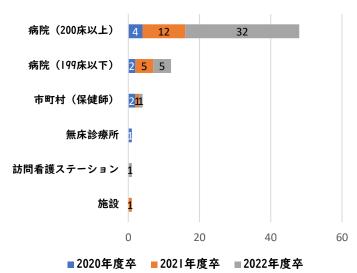
問 4. 就業状況 n=67



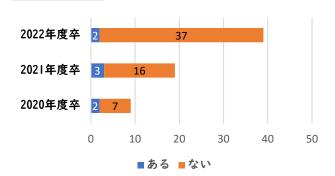
問 5. 現在活用ライセンス n=67



問 6. 就業施設 n=67

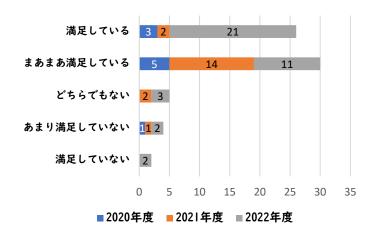


問 7. 転職有無 n=67

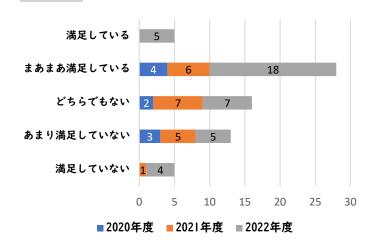


《年度卒別 職場満足度》

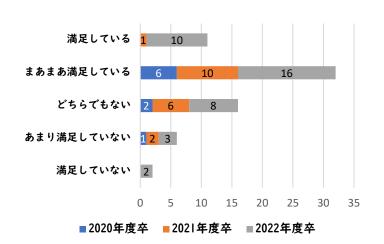
問 8. 勤務地 n=67



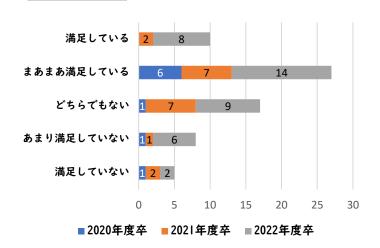
問 9. 給料 n=67



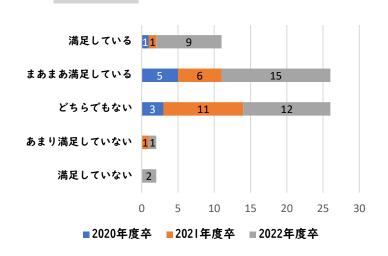
問 10. 勤務体制 n=67



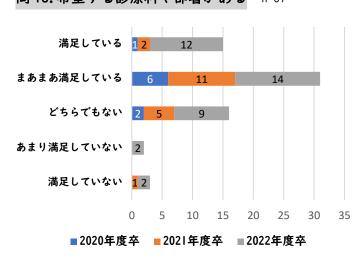
問 11. 勤務時間 n=67



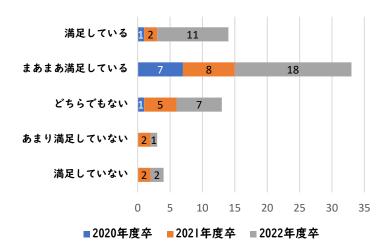
問 12. 知名度 n=67



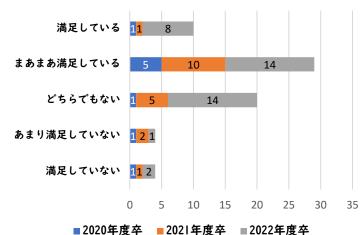
問 13. 希望する診療科や部署がある n=6



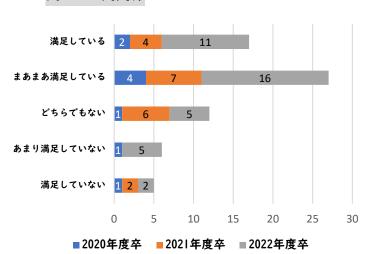
問 14. 福利厚生の充実 n=67



問 15. 施設・設備の充実 n=67



問 16. 人間関係 n=67



【考察】

- ■帰属について、卒業時の進路は回答者 68 名の内、66 名(97%)が看護職に就き、I 名は進学(アンケート回答時点では卒業し看護職に就職)、I 名が看護職以外に就職している。看護職に就いた卒業生 67 名を勤務地別でみると、鳥取東部が I7 名、鳥取中部が I2 名、鳥取西部が I6 名、鳥取県外が 22 名であり、67%が鳥取県内に就職している。また、就業施設別では、200 床以上の病院に 48 名(72%)が就業し、そのほか、I99 床以下の病院に I2 名(18%)、保健師が 4 名、無床診療所・訪問看護ステーション・施設が各 I 名となっている。育休・産休中が I 名、6 名が転職を経験しているが、回答者全員が就業している。この結果から、転職した卒業生もいるが、看護師や保健師の資格を活かした職に就き、大学での学びが活きていることがうかがえる。
- ■職場の満足度については、各項目「満足している」「まあまあ満足している」という回答が全般的に多い。一方で、「給与」に関しては、27%が「満足していない」「あまり満足していない」と回答している。以上のことから、職場に対する満足度は「給料」を除きおおむね高く、看護職での就業の継続につながっていると言える。特に「勤務地」「福利厚生の充実」の満足度が高く、職場環境の良さがうかがえる結果となった。見学やインターンシップ、実習等を通して比較しながら施設研究し、進路決定するよう引き続き学生に指導していきたい。

ディプロマポリシーについての卒業習得状況アンケート (全体 n=67)

